

四国愛友会会報



「子ども川祭り」 (撮影) 平林 恒男さん

第 1 4 4 号
平成 20 年 10 月

目次

NTTグループの動き

- ・ 事業運営体制の見直しについて
- ・ 四国において最近見直した三つの組織

3 2

ドキュメント

- ・ 「要約筆記奉仕員」として活躍

5

ボランティア紹介

- ・ 今話題のこの人を紹介します

6

サークル紹介

- ・ 愛媛OB囲碁同好会

8

M・M(マルチメディア)コーナー

- ・ パソコンと囲碁

9

健康のページ

- ・ 腸閉塞症(イレウス)について

10

私は今

- ・ 「会員のみなさんの近況」

11

テルウエルだより

- ・ 介護予防教室開催のご案内
- ・ 香川介護センター・徳島ボランティアクラブの
総会及び研修会開催

15

俳句

- ・ インターネット「若草句会」(愛媛)

17

- ・ 高齢者叙勲/物故者叙勲/敬弔

17

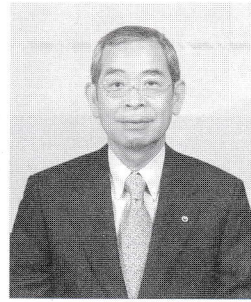
- ・ 表紙の言葉/編集後記

17

NTTグループの動き

☆「事業運営体制の見直し」について

今号では6月20日付けでNTT西日本の代表取締役社長に就任した大竹伸一社長の言葉を引用しながら今後のNTT西日本グループの動きについて紹介いたします。



＜NTT西日本大竹社長＞

NTT西日本グループはこれまで以上に地域に密着し、お客様目線で仕事をすることを目的として7月1日

に事業運営体制の見直しが行われました。まずは、NTT西日本グループ社内誌「西広場」での大竹社長インタビュー記事から社長自身の考えを紹介いたします。

■「いつも、あなたの、そばにいる。」を経営のスローガンによりお客様の立場に立つことでスピード感のある会社を目指す。

今回、事業運営体制の見直しを行う一番の狙いは、各ブロックが主体となった経営を一層発展させていくことです。

今後、私は「いつも、あなたの、そばにいる。」というスローガンを掲げて経営を行っていきたくて考えていますが、このスローガンには、「私たちがお客様の立場に立つことで、サービスの品質や料金、満足度などを、

是非お客様に身近に感じていただきたい」という気持を込めています。

■現状の課題について

「NTT西日本グループは社会に必要とされる会社」というのが基本原則です。

そういう観点から考えると、IP化やユビキタス化など、非常に早く移り変わっていく世の中の状況に私たちが的確に対応していかなければならないということが課題とと思っています。

現在、既存サービス収入の減収がIP系収入の増収を上回っており、全体としては収益が減ってきています。

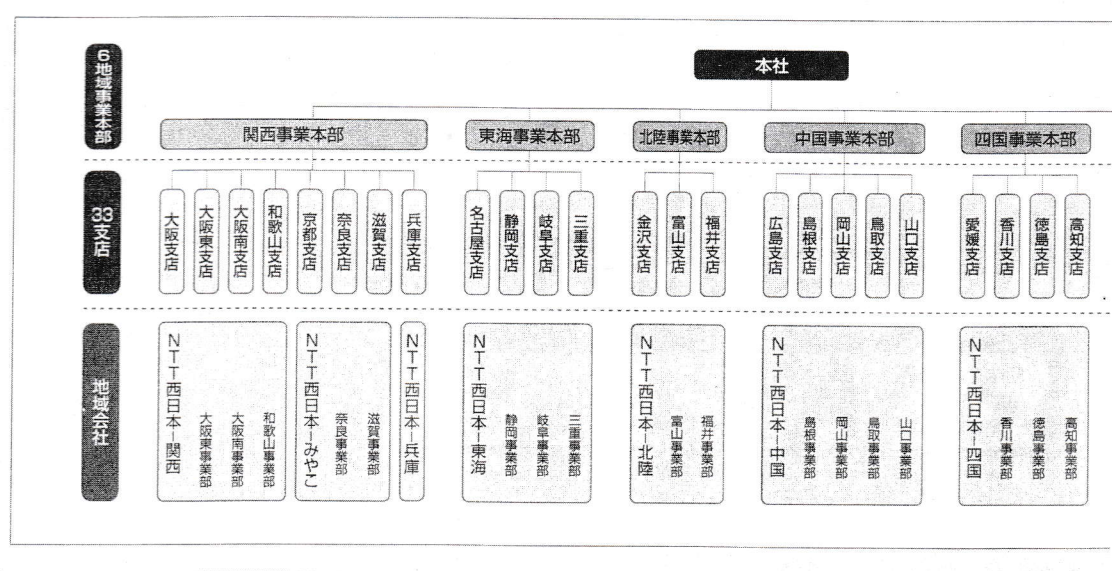
今後もIP化やユビキタス化は進み、それに伴ってお客様の利用方法も変わってきますので、こうした流れを踏まえて、私たちNTT西日本グループも変わっていかなくてはなりません。

■抱負

全体の収益が減ってきているという現状の課題を解決するために、今年度から取り組んでいる中期経営戦略の実践を中心に進めていきたいと思っています。

中期経営戦略には三つの大きな柱がありますが、一つ目は「増収に向けた『成長戦略』」、二つ目は「サービス向上に向けた『お客様への付加価値の提供』」、三つ目は「コストダウンを実現する『企業体質の強化』」です。

新たな事業運営体制(平成20年7月1日現在)



それぞれ具体的にお話しすると、一つ目の柱である『成長戦略』については、今年の3月からサービス提供を開始したNGNのエリア拡大を図ると同時に、このサービス環境上で新たなビジネスを生み出していきたいと考えています。

また、最近ではお客様宅内に様々な情報通信機器が入ってきていますが、お客様自身でそれらの配線を行うのは非常に困難です。で、お客様をサポートするという意味でも宅内ビジネスを強化していきたいと思えます。

さらに、データセンタやコールセンタなどに対する需要も非常に高まっていますので、私たちが持っている人材や設備・資金等を活用したビジネスの強化を図っていくつもりです。

あとは、やはり私たちの主軸の事業である光IPサービスの販売です。7月から全支店で新体制が整ったことから、今後は特に、中堅中小規模企業、SOHO企業といったお客様を中心に必要な拡大を図っていききたいと考えています。

二つ目の柱である『お客様への付加価値の提供』については、従来行ってきたお客様ニーズに答える「カスタマー・ファースト活動」を質的に発展させ、お客様の視点に立ってお客様の思いを感じ、お客様と一緒に歩んでいく「ウィズ・カスタマー活動」を進めていきます。

今後はお客様のいろいろな要望を事業の中に取り入れて、さらなるサービス展開を図るといった新しい形態にシフトしていくつもりです。

三つ目の柱である『企業体質の強化』については、これまでもコスト削減に取り組んできたものの、まだ取り組むことができる部分も非常に多くあると思っています。

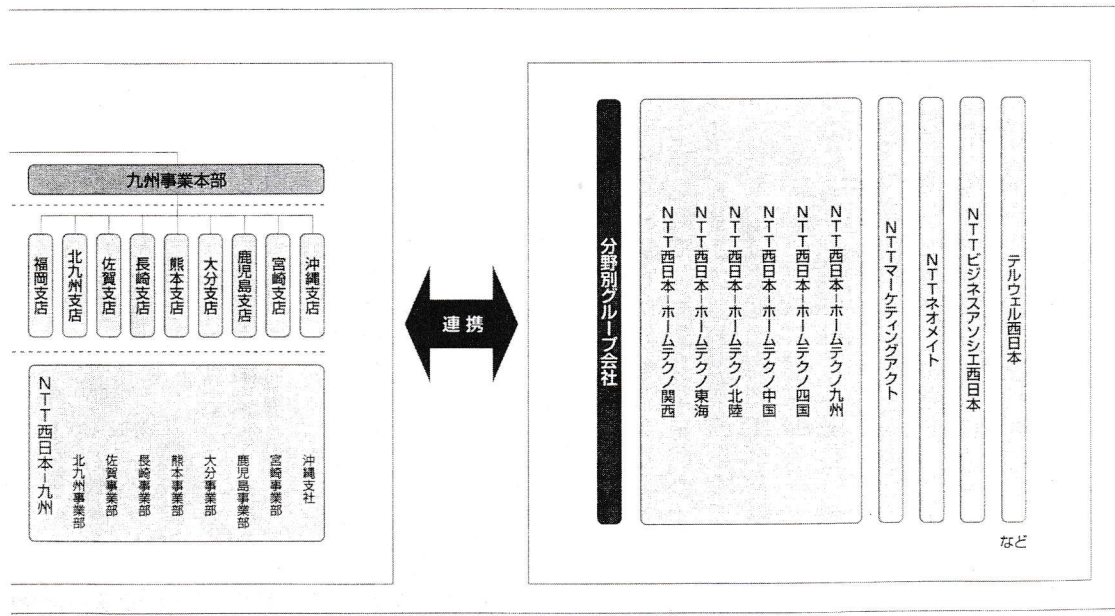
地域や場所を問わない業務の拠点集約や、これまで取り組んできた内製化をさらに推進し、費用の外部流出を抑制する。あるいは、新しい技術をどんどん取り入れる。こうした取り組みによって、先ほどあげたような課題を解決していきたいと考えています。

次に四国において最近見直した三つの組織についてご紹介します

NTT西日本ーホームテクノ社

平成20年4月1日にNTT西日本の一〇〇%出資会社としてNTT西日本ーホームテクノ6社（四国ではネオメイトサービス四国が社名を変更しホームテクノ四国）が発足し、7月1日から宅内技術の粋を集めた専門特化型の会社として営業を開始いたしました。

近年のIPブロードバンドサービスの拡大及びNGNサービスの開始、情報端末機器の広がりに伴い家庭や事業所でのIT環境は、ますます複雑になってくるのが想定されます。ホームテクノ社は、多種多様なネットワーク環境に関する様々な要望に即時即応できる体制のもと、お客様一人ひとりが安心・安全に、さらには、より便利で快適にIPブロードバンドサービスをご利用いただくため、これまで培ったノウハウとプロフェッショナルな技術でいろいろな問題や課題の解決に貢



献する会社です。

「いつでも、お客様にとっての身近な存在でありたい。」 NTT西日本ーホームテクノ社の活躍にご期待下さい!!

□ T16センタ

平成20年7月1日から西四国116センタ(松山)、東四国116センタ(徳島)は、マーケティングアウト社へ業務を委託し、フレッツ光などのブロードバンドサービスに関するお問い合わせ等の増加や、お客様ニーズの多様化に対応するとともに、効率的な受付体制を推進することにしました。

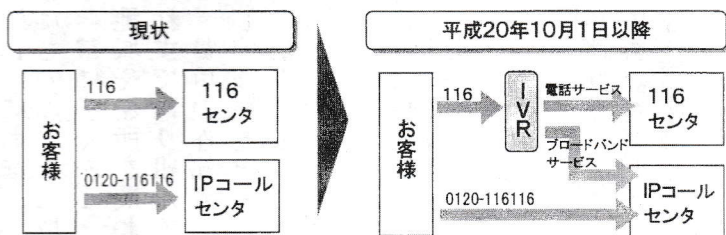
NTT西日本では、電話に関するお問い合わせ総合窓口として「116」、新サービスに関するお問い合わせ総合窓口として「0120・116116」の二つのお問い合わせ番号をご案内していますが、昨今、ブロードバンドサービスに関するお問い合わせ等の件数が増加するとともに、その内容も多様化・高度化する傾向にあります。

このような状況の中、お客様のニーズに対応するため「0120・116116」については、5月13日からブロードバンドサービスに関するお問い合わせ等を専門的に対応できるオペレータを配置した「IPコールセンタ」を松山に設置し、お客様の受付を実施しております。

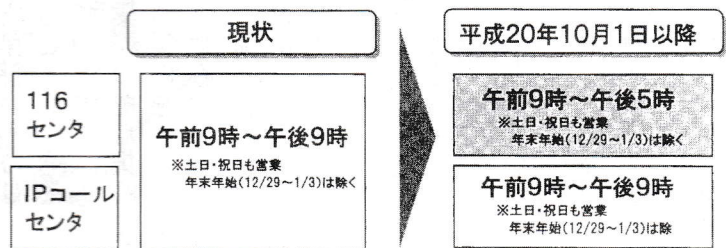
10月1日より更なるお客様の利便性向上、及び効果的・効率的な受付運営を推進するため「音声自動応答装置(IVR)」を導入し、お客様からの各種お申し込み等をガイダンス

により案内し、目的に応じた専門受付により、お客様の利便性の向上に努めてまいります。
(図1参照)
また、17時以降のお申し込み・お問い合わせが減少傾向にある「116」の受付時間を10月1日より従来の「9時～21時」を「9時～17時」へ変更し、17時以降は音声によるサービス案内、Webサイト、及びメールによる受付や音声メッセージによりご案内し、効率的な受付体制の実現を図るっていくこととします。

(図1)



(図2)



なお、ブロードバンドサービスのお申し込み、お問い合わせを行う「0120・116116」は、従来どおり9時～21時まで受付いたします。(図2参照)

□ NTT西日本加入権センタ

NTT西日本エリア15拠点において名義変更などの加入権業務の受付を行ってきた「NTT西日本加入権センタ」が7月7日から徳島・鹿児島島の2拠点に集約を行い、「NTT西日本加入権センタ徳島」「NTT西日本加入権センタ鹿児島」の新体制で業務を開始しました。

今回の広域集約については、NTT西日本トータルとして効率的かつ高品質な加入権業務などを実施していくことが狙いです。

平成20年6月2日に四国業務を愛媛より移転し、石日本広域集約に備えて事務室設置や入念な社員研修を行い、徳島加入権センタは徳島市(NTT中洲ビル)に設置しました。

また、受付エリアについては自エリアである四国をはじめ、関西・東海ブロックの大都市圏を担当し、効率的かつ高品質な加入権業務を実施していきます。

今年度はNGNを四国で開始します。

「固定電話と携帯電話の融合」「通信と放送の融合」が加速していく今、ユビキタス社会の本格的到来に向け、四国地域の高度情報化、活性化へ貢献していきます。

ドキュメント

生きがいを感じ・人生を楽しむ

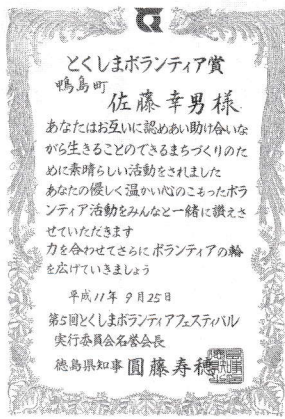
「要約筆記奉仕員」として活躍

佐藤 幸男さん (吉野川市)

吉野川市在住の佐藤幸男さん (S 61年 NTT 退職、H 3年現 NTTドコモ退職・77歳) は、第二の人生は社会奉仕 “との強い信念をもつて、ボランティア活動に充実した日々を過ごされている。

現在は「吉野川市ボランティア連絡協議会副会長」「鴨島町ボランティア連絡協議会副会長」「NPO法人徳島県ボランティア協議会副理事長」等の要職を担い、種々の活動に忙殺されているが、これまでの活動のうち、特に「要約筆記奉仕員」としての活動では多大な功績を残されている。

このような佐藤さんの長年にわたる献身的な活動に対し、平成11年、徳島県知事から「とくしまボランティア賞」を受賞した他、平成19年には電友会本部会長より「第16回ボランティア活動賞(個人)」等を受賞している。



《徳島県知事からの賞状》

今回はそのような佐藤さんを訪問し、ボランティア活動について、特に「要約筆記奉仕員」の活動を中心にお話を伺った。

❖ ボランティア活動への動機

- ① NTT在職中、父親が「特別養護老人ホーム」で多くの方々に変にお世話になったことから、退職後は少しでも恩返し活動をしたいと思っていた。
- ② NTT在職時は転勤等もあり地域の方々との付き合いも少なかったことから地元との繋がりを深めたかった。
- ③ 妻が既に地域でボランティア活動をしており、活動への参加を誘われたことから平成3年「鴨島町ボランティア連絡協議会」の活動に参加するようになった。

以上のことが佐藤さんのボランティア活動の動機になっているそうである。

❖ ボランティア活動の内容

ボランティア活動にあたって佐藤さんは、「できることを」「できるときに」「できるところで」をモットーとして

- ・ 福祉施設への友愛訪問 ・ 障害者用リフト付自動車の運転 ・ 清掃等環境美化活動
- ・ 訪問入浴車の運転 ・ 障害者の皆さんとの「ふれあいの旅」 ・ 車椅子の介助 ・ ガイドヘルパー ・ 聴覚障害者への要約筆記等18種類にも及ぶ活動に携わっており、まるでボランティアの百貨店といった感じである。

❖ 「要約筆記」とその活動場所



《障害者の皆さんの「ふれあいの旅」に同行(前列左端佐藤さん)》

中途失聴者、難聴者(人生の途中から病気が怪我等で耳が聞こえなくなった人、または聞こえにくくなった人)は、ほとんどの方が手話が出来ないのです、そのような方に話の内容の要点を「紙や黒板、OHP(書いたものを映写機でスクリーンに映す方法)を使用し」即座に筆記して伝えることが要約筆記であり、例えば、英会話の同時通訳に似たような役割をになうものという。
要約筆記の活動場所は、中途失聴者・難聴者が参加する「各種会議」「講演会」「イベ

ント会場」「旅行」等であるが、主には「各種会議」と「講演会」だそうである。

❖ 要約筆記奉仕員への動機

平成3年「鴨島町ボランティア連絡協議会」の活動に参加したが、自分にあつた活動が見つからず悩んでいたとき、ボランティアの先輩である奥さんから「トンツで電報を受けていたのだから、話を聞いて筆記するのは向いているのでは」とのアドバイスを受け「鴨島町社会福祉協議会の要約筆記講習会」を受講したが、要約筆記奉仕員としての始まりであり、そして、これが佐藤さんのボランティア活動の原点となっている。

❖ 記憶に残る思い出

平成5年11月に徳島県で開催された「第29回全国身体障害者スポーツ大会」で要約筆記奉仕員として、鳴門会場の「卓球競技」の要約筆記を初めて担当したが、そこで聴覚障害者の選手達は、何か手助けをしてもらうと「ありがとう」と感謝の気持ちを表してくれ、その言葉に感動したこと、また、卓球競技場に皇太子殿下、妃殿下がお見えになり、ねぎらいのお言葉をいただいたことが強く印象に残っているという。

佐藤さんと同じグループで要約筆記奉仕員をしていた先輩格にあたる若い女性の要約は「正確で、速く、読み易く」「拍手や笑い声」をイラストで表現するなど、すばらしい感性の持ち主で皆が注目していた。後日、その彼女を息子の嫁にとの話があり、そのことに佐藤さんは要

約筆記との縁を深く感じたようで、現在二人は結婚して仲良く滋賀県で暮らしているそうである。

❖ 苦勞すること・今後への期待

中途失聴者、難聴者が参加する「大会・会議」には、付添者や一般の方（健聴者）も参加しているのので、正確に読み易く表記できたか不安になったり、また、同音異義語に冷や汗をかくなどの苦勞もあるというが、最近では「パソコンによる要約筆記」も普及してきており、スピード化と漢字変換が容易にできるよう改善されているようである。

佐藤さんは「現在、要約筆記奉仕員は少なくて高齢化が進んでいることから、若い人の参加を期待しており、今後はパソコンによる要約筆記が主流となることから、ぜひ若い人に挑戦して欲しい」と今後に期待を寄せている。

【編集後記】

要約筆記から始めた佐藤さんのボランティア活動は、障害者とのかわりから、車椅子介助・入浴車の運転・リフト付自動車の運転による障害者の外出支援・ガイドヘルパーの必要な障害者との「ふれあいの旅」等活動範囲が広がっている。

「活動を通じて多くの人々と交流でき、よい勉強をさせてもらった事に感謝している」という佐藤さんには多忙な中、取材にご協力いただきありがとうございます。今後とも健康で活躍されることを祈念しています。

(徳島編集委員：日出明利)

ボランティア紹介

★ 今話題のこの人を紹介します

安倍 義晴さん (高松市)

今回の香川からの「ボランティア紹介」は、マジックですばらしい芸をお持ちの線路部門OB、安倍義晴さん(78歳・高松市香川町在住)のボランティア活動について紹介します。



「高松市香川町の老人会でマジックショーを熱演する安倍さん」

安倍さんは昭和63年3月に42年間勤めたNTTを退職されたあと、NTTグループ会社で現在も元気に働いています。

安倍さんの活動は「プロ級のマジックを駆使した多方面へのマジックショーによるボランティア活動等」で、芸名は「ベアーズ・アベ」とのこと。

マジックショーは「ど演歌のBGM、ユニークな衣装、多彩なネタ、華麗なる手さばきと話術」などが相俟って、会場は盛り上がり熱気ムンムン！当然、アンコールも飛び交うそうです。

これまでの安倍さんのボランティア活動の歩みは次のとおりです。

□ 発心の動機

20数年前、とあるお寺で、友人の方によるボランティア活動としてのすばらしいマジックショーを見学した際、その場の雰囲気感銘するとともに、生来のチャレンジ魂がムラムラと燃え上がり、友人に弟子入りを懇願のうえ、なんとか弟子入りさせてもらったそうである。

当然、一番弟子で「念ずれば花開く」との安倍さんの信念と行動力には「一度の人生何ぞや」を考えさせられた。

□ 修練の期間

弟子入り後、2〜3ヶ月間の猛練習により、念願の初舞台を迎えたそうである。

初舞台での感激から更に芸域を広げる努力を積み重ね、今では50種類に及ぶネタを持っている。

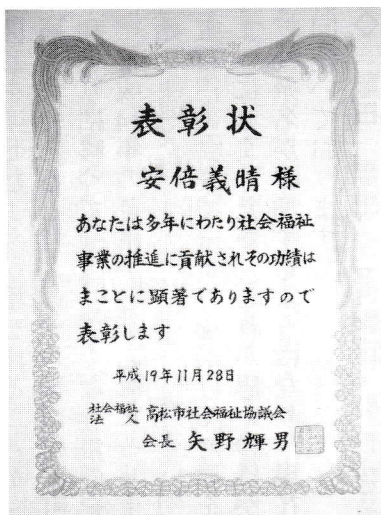
教訓は「観衆の顔色を一人ひとりハッキリ見ることが出来るまでは是精進あるのみ」という。

しかし、見ると行うとは大違いであり「年甲斐もなく、こんなことに手を染めるのはもう止めよう」との衝動に駆られたことが何度もあったそうである。

□ 本格的な活動

主に香川県内を中心に社会福祉協議会、老人ホーム、小学校、保育所、病院等での誕生会やクリスマス会及び地域の祭り、各種イベント（官民）等での余興として一週間に一回程度のスケジュールで訪問活動をしている。

その活動に対して平成19年11月28日に高松市社会福祉協議会から表彰を受けている。



《 高松市社会福祉協議会 から授与された感謝状 》

また、訪問先から感謝の気持ち込めたお礼の手紙も多数いただいている。

他方、後継者の育成も熱心であり、現在10名余りのお弟子さんに月二回程度の手ほどきを行っている。

芸に更なる磨きをかけるため、日夜努力を続けている安倍さんの姿には、頭の下がる思いがした。

□ 今後の抱負

「何時でも何処へでも喜んで一芸の出前をしますので気軽に声をかけて下さい。楽しみに待っています」という安倍さん。

今回の取材では『これまでの生き様を迎え入れてくれる環境にある限り、今後ともボランティア人生に情熱を注いでいきたい』という安倍さんの言葉に、今後への新たな決意が感じられた。

なお、余談になりますが、安倍さんには去る平成20年1月19日開催の『NTT四国さぬき線路会』発足に伴う記念総会後の懇親会において、そのすばらしい芸とパフォーマンスを披露していただき、会場は拍手・喝采で盛り上がり、次なるエネルギーに繋がるものとなりました。

（香川幹事：上枝文敬）

サークル紹介

☆ 愛媛OB囲碁同好会

菅 常一 (松山市)

愛媛OB囲碁同好会の最盛期は、第一〇〇回記念大会を実施した平成10年頃であったと思います。

清水町の電信電話会館で53名が参加して盛大な囲碁大会を行いました。このときの会員数は約85名でしたが、これをピークとして、会員数はゆるやかに下降線を辿ってきております。

この10年間で会員数は40名を下回り、二ヶ月毎に行われる例会の参加者も30名を切る状況になってきていますが、原因は会員の高齢化と新規加入者の減少です。

新しく電友会に入会された方も、インターネット愛好会とか健康志向のサークルは目に入っても、在職中に囲碁をしていなかった方が囲碁部に入会してくることは、まず考えられません。

天命と時の流れに逆らうことはできませんが、囲碁の楽しさは、会員数とは関係ないと思っております。そこで、ここ数年間に取り組んできた囲碁部の改善策についてご報告し、サークル紹介に代えさせていただきます。

1、リーグ戦の実施について

二ヶ月毎に行われる例会に多くの人が集まることも大切ですが、毎日、みんなが集まっ

て囲碁を楽しむような場を作ることが、より一層大切であると考え、サロンが松前町から平和通りに移って、より広くなったのを機会に、平成14年の暮れから有志によるリーグ戦を始めました。

五百円の会費で一ヶ月をかけて対局を終わるようにしましたが、これが思いのほか好評で、20余名が参加するようになり、現在まで67回続いております。



◀ OBサロンでの愛媛OB囲碁同好会の例会対局風景 ▶

2、対局時間の短縮

例会の対局方法は一組六人のリーグ戦方式で、それぞれの組毎に優勝・準優勝・三位までの賞品を出しております。また、例会は土曜日の正午から六時までの六時間で行っておりますが、一組六人のリーグ戦では、各人が五回対戦しなければならぬため、約一時間で一局を終わらせなければなりません。

早打ちが得意な方も大勢いますが、中には局面が混戦模様となり、一局が一時間半以上に及ぶ人もいます。また、リーグ戦における勝敗が同じ人の再試合の時間も必要となり、毎回、何名かは対戦できないまま、抽選で勝敗を決定することが避けられない状況でありました。

この対策として、リーグ戦にはスイス方式を、また、時間短縮には対局時計を導入することにしました。

(1) スイス方式の採用

従来リーグ戦の順位は勝率で決めていたため、同じ勝率の人が出た場合は再試合が必要でした。この再試合を無くするため、部員から提案があり、平成16年6月からスイス方式を採用することにしました。

この方式は日本棋院でも採用されていますが、勝数に勝った相手の勝数をウエイトとして加算する方法です。従来の勝率方式では、勝数一は一点として計算されますが、スイス方式ではその勝った相手が当日、三勝していれば三点としてカウントします。この方式を採用してからは、六人全員が揃っている場合は、殆ど再試合なしで順位が決定出来るよう

になっ

(2) 対局時計の導入

平成19年4月、OBサロンが三津浜に移ってからは、例会は毎回四組(24名)程度の人数に定着しております。

全員が時計を使用するとすれば12個の時計が必要となりますが、経費的にも今すぐ必要な数を購入することは出来ません。また、部員の中には早打ちが得意で、時計の使用を面倒がる人もいます。そこで次のルールを作り、時計の使用に踏み切ることにしました。

① 両者がほぼ一時間で対局できると考えた場合は時計は使用しなくてよい。

② どちらか一方が時計を使用すると思

表示した場合は必ず時計を使用する。対局時計は、現在、部員から寄贈されたものが一個、部員が持っている例会当日持参できるものが二個ありましたので、急いで対局時計を三個購入し、本年6月から対局時計の使用をスタートさせました。

まだ二回しか実施しておりませんが、結果は上々で、永年の念願であった六時間以内での例会実施が実現できるようになりました。

以上、愛媛OB囲碁部の近況を報告させていただきましたが、例会は偶数月の第四土曜日に正午スタートで実施しております。参加費は千円です。

リーグ戦は毎日、午後から何名かが対局しておりますので、気軽に参加して下さい。こちらの参加費は一ヶ月五百円です。

【連絡先】(〇八九) 九二四一五三三八

M・Mコーナー

* パソコンと囲碁 *

近藤 功一 (藍住町)

NTTが業務の変換を目指していたH7年頃、情報案内部門に所属していました。

同部門も他部門にもれず、案内業務の統廃合に迫られ、他部門への転出を見据えて、パソコン研修に取り組んでいました。

100台ものパソコンのソフトのライセンスを含めた在庫管理も一仕事でした。

ノートパソコンも出だしの頃でもあり高価な物。備品で買える範囲(固定資産は否)というところで、HD容量も0.5GBと信じられないような品質でしたが、ワード・エクセル・パワーポイントを中心に研修に励んだものです。

H10年1月案内業務がパステルに移管されたのと同時期に定年退職となりました。

退職を見据えて、ライフプラン研修が盛んに行われていましたが、「金・健康・生き甲斐」のどれか一つが欠けても健全な老後が望めないと思われ、前段の言葉の意義が最近特に感じられました。

五十年の長きにわたって囲碁に親しんできましたが、前段の言葉の意義が最近特に感じられます。

囲碁対局も様変わりし、昼の間からイス対局、インターネットの普及により通信対局へと進化していますが、退職前に必然的にM・M業務に携わったお陰ですんなり入って

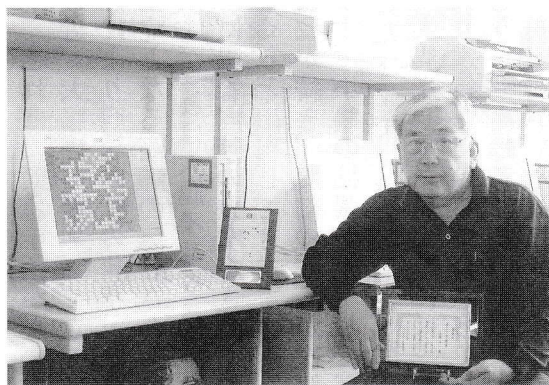
くことが出来ました。

通信対局にもいろいろあり、インターネットを紹介しているため、世界各国の人が会員になっているもの、当然24時間いつでも打ち放題、登録名はペンネームが多いようです。

日本棋院、パングネット、ヤフー等いろいろありますが、私は「サンサン」という会に入っています。

福島県にありローカルですが実名登録で親近感があり、プロ棋士、全国のアマ強豪との対局も可能。料金は月1750円で打ち放題。

以前は強い人との対局が不足がちでしたが、通信対局のお陰で昨年は電友会パングネット杯全国大会準優勝、今年6月には毎日新聞社主催アマ本因坊徳島県大会で優勝し、8月の全国大会に出場することが出来ました。パソコンと囲碁に親しんだお陰で、70才にして心身共に健康、人生を謳歌しております。



◀ 「電友会パングネット杯」全国大会決勝戦の棋譜の前で表彰状を手にする近藤さん ▶

腸閉塞症(イレウス)について

NTT西日本松山病院

外科主任医長 宮城 和富



二日前から排便がなく、ガスも出なくなりお腹がはつてきて、今朝嘔吐したので来院した患者さん

がいました。お腹に手術をした痕があり、腸の音がコロコロと亢進していました。レントゲンを撮ると腸が拡張してガスがたまり、鏡面像(上方にガス像、下方に腸の内容液による水平面を形成)がみられました。これが腸閉塞症(イレウス)でよくみられるパターンです。

腸閉塞症とは、小腸や大腸の内容物が通過障害を起こした状態のことをいいます。発生原因により、機械的腸閉塞症と機能的腸閉塞症に分類されます。

機械的腸閉塞症とは腸管の器質的な病変により腸管内腔の狭窄・閉塞をおこすものです。これには ①開腹手術後や腸管の炎症により起こる癒着 ②大腸癌などの腫瘍や腸の炎症性病変による腸管の狭窄 ③異物の誤飲や糸コンニャクなどの大量の不消化性食物の摂取などがあります。

一方、機能的腸閉塞症とは、腸管の器質的

な原因がなく、腸管を支配する神経の障害により腸管の運動障害がおこり、腸管内容が停滞するものです。

これには ①腹膜炎による炎症の腸管への波及 ②開腹手術後による腸管麻痺 ③薬物中毒やヒステリーなどの神経性因子によるものなどがあります。

これらのうち機械的腸閉塞症が約9割以上を占め、その中でも腸管の癒着によるものが最も多く見られます。

治療は腸閉塞症の原因と病状の程度により異なります。開腹手術後の癒着によるものは、まず保存的治療と言って手術によらない治療を行います。

経口摂取は中止し(水分もダメ)、点滴を行います。さらに腸管内圧の亢進を改善するため腸管の減圧を行います。それには鼻から胃管(胃の中までの管)やイレウス管(小腸の中までの管)を挿入して、拡張した腸管内容やガスを吸引排除します。

しかし、4〜7日間保存的治療を行っても治る見込が少ない場合は、手術が必要となります。手術はその原因と程度により ①開腹して癒着剝離 ②索状物の切除 ③腸管の切除・吻合 ④人工肛門造設などを行います。

機械的腸閉塞症の中で最も注意を要するものに絞扼性イレウスがあります。腸管は腸間膜という膜の中の血管によって栄養を受けていますが、腸管の閉塞と同時に腸間膜もしめつけられて(絞扼されて)腸管壁の血行障害を起こし、腸管が壊死(くさってしまふこと)に陥り、急激に激しい腹痛を訴え、ショック

症状を起こし全身状態が急激に悪化するものです。これは、緊急手術が必要なものです。

最近、大腸癌が増加してきていますが、大腸癌により腸管内腔の狭窄・閉塞をきたし腸閉塞症となる高齢の患者さんも増加してきています。これは大腸イレウスと呼ばれますが、徐々に腸管内腔の狭窄がきますので、症状もゆつくりと出現してきます。

便秘が続き、腹部の膨満が次第に増強してきます。小腸の拡張が出現して、嘔気・嘔吐をきたすまでには長い期間がかかりますので、大腸イレウス発症時には、その大腸癌はかなり進行している場合が多く見られます。

もう一つ高齢者に多い腸閉塞症に鼠径ヘルニア嵌頓(かんとん)があります。これは鼠径部に膨隆がみられる鼠径ヘルニアや大腿ヘルニア、いわゆる“脱腸”が出口から出っぱなしになって、戻らなくなった状態を言います。このようになると、入り込んだ腸管に血液が行かなくなり、放置すると壊死してしまいますので、出来るだけ早く緊急手術が必要になります。

手術が遅れると、ヘルニア修復術に加えて、腸管切除術などの追加手術が必要になります。

開腹手術後の癒着による腸閉塞症では、体調がすぐれない時には食事内容を軟らかい消化の良いものにするなどの工夫が必要ですが、完全に予防する方法や注意点はありませんが、腹部膨張があり、排便・排ガスがここ数日間ない方(特に開腹手術歴のある方)は早めにNTT西日本松山病院へお越し下さい。

私 は 今

庭菜園、好きな釣りを楽しんでる毎日です。

◇ 足達 裕昭 (香美市・H10退)

一昨年三月、ドコモ高知支店を最後にNTTを卒業いたしました。

今年で65歳を迎え、何はともあれ健康第一と、ちつとも上手くならないゴルフの練習、地域での壮年ソフトボールへの参加、女房の趣味の農作業助手(主に除草作業担当)など、身体を動かすことを中心に日々を送っております。

幸い?、十年ほど前に喘息を患い、三十数年お付き合いしたタバコとは縁を切りました。が、趣味のお酒は相変わらずです。

入社当時の仲間との月一回の飲み会など、お酒の匂いのする仲間の集まりへ積極的に顔を出しては、女房に褒められております。

◇ 井川 博光 (松山市・H16退)

毎年のように腰痛で整形外科に通院を繰り返してました。

昨年、沖繩旅行に行ったのですが、残念なことに持病に悩まされ、楽しい旅行のほが散々な結果となりました。

4号 それではいけないと思い一念発起し、健康本を参考に、スクワットを始めて以来、嘘のように腰痛がなくなりました。スクワットと言っても色々な仕方があり、自分にあった組み合わせをして頑張っています。

よい事にここ一年余り腰痛がなくなり、家

◇ 池内 千尋 (松山市・H11退)

関連会社を含めて四十五年間のサラリーマン生活に終止符をうってから一年余りになります。

もろもろのシガラミから解放され、今は三才の孫を相手に穏やかな日々を過ごしております。

◇ 井原 孝明 (松山市・H12退)

平成十八年十月からクラシックギターとハーモニカで、ボランティアグループ(自由塾)をつくり、福祉施設や公民館等を訪問して慰問演奏を行っています。

演奏内容は、会場に参加した皆さんに歌ってもらえるような、童謡やポップスを中心にしています。

今後とも、月一〜二回のペースで仲間と共に演奏を続けていきます。

◇ 植田 忠生 (阿南市・H11退)

趣味は?と聞かれると、釣り・ゴルフ・旅行・マージャンなどと答えているものの何一つ秀でたものはない。

真剣に取り組み、凝りにこったものは上達し身にもつくが、気まぐれで行っていることは、自信をもって私の趣味ですと言えないような気がする。

最近、カルチャーセンターへ通い始め日本画を習っている。

高額な絵の具や画材を描いたので、これを無駄にしないためにも、私の趣味は絵を描くことです、と言えるよう頑張るつもりです。

◇ 上田 満洲男 (松山市・H11退)

退職して十年目になります。

南堀端町に㈲ハローインターを設立して九年になりました。

ホームページの作成、不動産の仲介を主な業務として鳴かず飛ばずの生活をしています。

長女は嫁して久留米に居ます。第一回目の四国観光名人にパスして、現在は四国の名所旧跡を写真に撮ってホームページに掲載しています。(ハローインターで検索して下さい)

今後の余生は、ホームページを通じて四国の観光発展に尽くしたいと思っております。皆様のご健康をお祈り申し上げます。

◇ 越智 俊雄 (宿毛市・S63退)

退職後二十年。田舎でのケチ、エコ暮らしが板についてきました。

近くで一反ばかりの土地を相手に三十羽の鶏を飼い、その糞にモミガラ(農協ライスセンターでタダ)と米糠(コイン精米でタダ)を混ぜてEM菌で醗酵させて、タダの堆肥を作り無農薬野菜を作っています。

『土に親しむ』をモットーにして機械は使

わずに鎌一丁、鍬一丁で励んでいるので腰が痛くなるのが難点で、いつまで続くやら…。宿毛では『いつまでも仲良く』を合い言葉にOB仲間が集まり、毎年春の花見に始まり、施設へのボランティア奉仕、グラントゴルフ大会、健康ウォーキング、研修旅行、忘年会と多彩な行事を楽しんでいます。

◇ 越智 峻 (今治市・H11退)

私もNTTを退職して、知らぬ間に十年目になりました。お陰様で特段病気とのお付き合いもなく、これまで勤めていた職場(高速道料金所)を十月末で卒業することにしております。

やがてサンデー毎日の生活を迎えますが、趣味と実益?を兼ねた家庭菜園の栽培、そしてなかなか上達しないゴルフ、多少なりともレベルアップが図れるよう、腕を磨きたいと思ふ今日この頃です。

◇ 柿内 武正 (東温市・H11退)

脳梗塞に負けないで!! 脳幹梗塞で左半身不随となり一年八ヶ月が過ぎました。今は自分で車を運転し、毎日病院やスポーツジムへ通ってリハビリを続けています。

脳梗塞は恐ろしい病気ですが、後々のリハビリさえしっかりやれば、健康な脳が代替えをしたり、また、私のように神経をやられた場合でも、迂回ルートが出来てきたり等で機能回復が図られるようになります。

健康である事が一番ですが、もしなった時は絶対にあきらめず、リハビリする事が大切です。

◇ 神山 能子 (新居浜市・H13退)

秋の収穫も終わり、ほっと一息の今日この頃です。皆様お変わりありませんか。

退職してはや七年が過ぎました。孫の子守りも大半終え、グラントゴルフ・スクエアードانس・踊り・お手玉等、西や東へと身体を動かしています。腕前の方はすべて今一つですが、皆と会いお喋りを楽しんでいます。

もう一つの日課は、夕方遅くなっても実家の両親の顔を覗き、元気で一日でも長くこの日が続きますようにと願いつつ帰ります。皆様もお元気で過ごして下さいませ。

◇ 熊谷 淳一 (松山市・H12退)

NTTを退職して三年半、雇用保険給付の手続きにハローワークに行った時の縁で、平成十八年度はハローワーク松山でアドバイザーを、平成十九年度からは県立の職業訓練所で就職支援指導員に就き二年目を頑張っています。

仕事も健康でこそやれるものですが、年とともに体も弱ってくるのは当然で、退職後も毎年人間ドックを受検し、チェックしています。今まで気付かなかったことがわかったりし

て早めに手が打てます。また、日頃は気になったらすぐ病院に掛かるとを心掛けています。

◇ 公文 義政 (高知市・H12退)

先日、小学校六年の時の同窓会に参加する機会に恵まれ、五十年ぶりに恩師、級友と再会、懐かしく楽しい語らいのひとときを得ることができた。

これもお互いに健康であればこそだと、しみじみ感じる一日であった。

運動不足にならないよう気をつけるこの頃であるが、日課である孫の守りにも体力を要求され、今夏からスポーツクラブに通っているが、少し続けてみようと思っている。

また、月一回のゴルフも楽しみで打ち込みにも励んでいる。先ず健康、先ず安全を第一に過ごせればと思っている。

◇ 坂本 忠成 (徳島市・H12退)

現職卒業後八年間、現役を続行しています。主に中小企業に勤めて、若者と身体を動かす、頭脳の活性化に努力して濡れ落ち葉の人生が遠くなるよう乗り切れればと考えています。

中小企業で味わうことは、潰れる危機感が常時あるが、現職時代の柵がないため仕事の達成感を若者と共有し、喜ぶことが健康に良いと思っています。

◇ 佐藤 達博 (善通寺市・H11退)

今年三月、現役を引退しました。以後、我が家の小さな菜園へ精勤しており、近所の先輩の皆さんの指導を受けながら農作業に励んでいます。

お陰様で夏野菜は大豊作、近所・親類へおすわけが出来ました。特にスイカ、瓜など難しいと思われたものが上手くできて感激でした。

これからは永らく離れていた故郷への恩返しに自治会へ積極的に参加し、活動の中をもっと広げていきたいと考えています。

◇ 塩崎 國夫 (丸亀市・S60年)

早いもので退職して二十四年が過ぎようとしています。

おかげで一度も医者のお世話になることもなく花作りをしています。

今日も朝、色とりどりの木槿(むくげ)を見ると心が癒されます。

囲碁ですが、昨年は団体戦(三人一組)でN T T香川で出場し、第三十八回香川県職域団体戦において優勝、今年は準優勝と活躍することが出来て満足しております。

今後は健康で花作り、囲碁に日々楽しく過ごそうと思っています。

◇ 下村 幸子 (さぬき市・H4退)

現在、在職中なみ?の忙しさで、NHKをはじめ四国新聞社の何個所かの文化教室で、

書道を楽しむ方々のお手伝いをしています。拘束時間は長くはないのですが、移動時に使用する自動車の運転は七十才を幾つか越えた今、目の方が心配です。

恩師が亡くなり、一層忙しさが増し、責任も生じた。でも、健康で筆を持つことが出来ることに感謝し、今、少し頑張ってみようと思っております。

◇ 杉本 博宣 (いの町・H11退)

N T Tを退職して早九年が過ぎ、再就職先も辞めて三年目。

役場から長寿手帳なるものを頂戴する年齢(六十五才)になりました。

体力、記憶力の衰えを感じつつも、元気に呑気に暮らしています。

毎朝、愛犬「モカ」の散歩に付き合い、孫娘の遊びの相手に手を焼きつつ、インターネットに現を抜かし、気が向けば庭木の剪定や草引き、また、古本屋で買い求めた時代劇小説で退屈を紛らし、晩酌を楽しみにする毎日です。

仕事の方は週に一度テストセンターの試験監視員としてのアルバイトに精を出して、引き籠もりの予防に努めています。

◇ 高原 浩史 (阿南市・H14退)

父親が弱ってきたとのこともあり、六十を目前に東京からUターン。白金電話局に始まった電話稼業も三十六年。

同居一年ほどで父は他界、現在は母と妻の三人暮らし。

夏休みで埼玉から娘達が来てくれた。三才の孫が主役を張っての十日間、毎日が盆と正月だった。

今では大量のビデオと写真が時折賑わいを戻してくれる。

市の嘱託職員として会館の館長職も五年目を迎えました。

「男はつらいよ」の寅さんばりにカメラをぶら下げ放浪の旅に出たいとの思いはつるばかり：。

◇ 南條 寿子 (松山市・S47退)

今年三月に孫が誕生しました。

喜びや悲しみを体いっぱい表現し、その純粹さと可愛らしさに感動しています。

五ヶ月になると首がしっかりして寝返りをするようになりました。

成長の早さに目を見張るばかりです。娘がこのような孫の成長ぶりを携帯に撮り送ってくれます。

私は今月から携帯のポケホーダイに加入し、写メールを楽しみにしている今日この頃です。

孫は自然に囲まれた環境の中に住んでいます。自然から多くを学び、人の気持ちのわかる思いやりのある子になってくれることを望んでいます。

自然から多くを学び、人の気持ちのわかる思いやりのある子になってくれることを望んでいます。

◇ 西原 隆明 (松山市・H10退)

先日、友から電話があった。毎日有意義に過ごしている様子。旅行・家庭菜園・スポーツクラブ・地域の活動等々。毎日が充実しているようだ！「人生の楽園」第二の人生を充実して生きていくことは素晴らしいことだ。私もこれに肖りたいと思う今日この頃です。

◇ 原田 厚子 (吉野川市・H6退)

退職後は書道と華道を教えたいと現役時代に苦勞して資格を取りましたが、いざ退職してみると、自由な時間を縛られるのがいやで、結局実行せず今に至っています。

現役時代地域の方々にお世話になった分少しでもお返しをと婦人会に入り会計を六年、会長職も二期目に入り面倒なことも多いですが、人との出会いを大切に頑張っています。〃継続は力なり〃と申しますが、趣味の俳句もママさんコーラスも続けていますので、大変忙しい毎日です。この忙しさが、私の健康を支えているようです。

◇ 原田 弘和 (高知市・H9退)

NTT退職から早や十一年、この間、テルウエル高知で総務課を経て電報業務指導員にその後は自営業として、高知電報配達所所長(電報サービス企業組合理事長兼務)を勤め

た後、昨年九月辞任し、漸く無職の素浪(老人)となり今日に至っています。

齢六十六才になり皺も寄りましたが、幸い一度も病院のお世話になつたこともなく、元氣は昔のままで、母校室戸高校野球部の応援に出かけたり、好きな坂本龍馬の本を読み漁ったり、ウオーキングで汗を流したり、町内会のお世話をしたり、毎日なんとか退屈せず過ごしております。

◇ 平尾 始 (徳島市・H11退)

NTTを退職後、八年間、四国通建(株)でお世話になり、昨年三月末でサラリーマン生活を終えました。

現在は妻と二人でサツマイモ(鳴門金時)を栽培しています。八反程度の畑ですが、年間を通じてそれなりに仕事があり、特に収穫時期には結構忙しくしています。おかげで体重も約五キロ減り、持病の腰痛も出なくなりました。単調な生活ではありますが、野菜の栽培に楽しみを見つけながら毎日を過ごしているところです。

◇ 藤田 昇正 (松山市・H8退)

今年の夏は長くて猛暑続きでしたので、朝の涼しい時間にラジオ体操と約一時間程度の散歩を心掛けています。

あと野菜作りといっても水やりと草引きが主ですが、自転車で畑まで二十分の所へ通っています。

月に一回程度のゴルフと船釣りを趣味と実益を兼ねて行っています。

また、来年二月で十八回目となる愛媛マラソン(但し、10キロ・ロードレース)に出場する予定です。何事も健康第一、アンチ・エイジングのつもりで頑張ります。

◇ 港 和子 (徳島市・S62退)

猛暑も去り、朝夕秋の気配を感じる好季節を迎えますが、残念ながら何の予定もありません。

独り暮らしの友は何といつてテレビです。さみしい限りです。

近頃「長生きも楽ではない」と思うところが色々出てきました。病氣や入院を体験し、物忘れも毎日にひどくなり、放っておいたら家の中も外も、顔も姿もどんどん汚くなってしまいます。何とか廻りの人達に嫌われないよう頑張りがら自律して、心豊かに自分の歩調で進むしかないと思う昨今です。

◇ 八束 幸信 (松山市・S57退)

会員の皆様にはお変わりございませんか。私も早や八十路の坂を転げ始めました。

寄る年波は如何とも致し難く、年々歳々体力の衰えをひしひしと肌で感じております。

この衰えを食い止める方法は無いものかと、夢のようなことを考える今日この頃です。ともかく今のところ健康的には可もなく不

可もなく元気でやっております。
 最後になりましたが、電友会の今後益々の御発展と事務局御一同様の御健勝を心から祈り申し上げます。

◇ 矢野 良子 (琴平町・H5退)

早いもので退職して十五年になります。近況といえはエンストしたみたいにはブラブラぼらをしていても、友人達との趣味の集まりや遊びに行くときははりきって、孫達とデートの合間に家事を手抜きでチョコットして、気ままにストレスをためないで一人暮らしを楽しんでいます。
 用心棒のワンちゃんとの散歩、おしゃべり相手のオカメインコの親代わりとが毎日の日課です。これからは健康に気をつけて過ごせたらと思っています。

◇ 山田 廣子 (勝浦町・H12退)

電友会の皆様お変わりございませんか。退職して早や八年が過ぎました。旅行・ボランテニア・野菜やみかん作りをして楽しい毎日を送っています。友達の誘いを受け、退職してから登山という趣味を一つ増やしました。初めて登った北アルプスの燕岳、白い花崗岩の山の斜面一面に咲いている淡紅色の駒草の花に出会い、高山植物に魅了されてしまう。年齢と共に膝や腰に痛みを持ちつつ、今年の夏も南アルプスの北岳でいっぱいの花に出合いました。あと何年? と思ひながら。

テルウエルだより

☆ 『介護予防教室』開催のご案内

♪いつまでもイキイキと自分らしい生活を！
 元気なうちから介護予防の知識を学びましょう！♪

テルウエル西日本(株) 四国支店では、社会貢献の一環として、家庭介護教室を毎年各県二回開催しておりますが、今年度はこの家庭介護教室に加え、新しく介護予防教室を開催いたします。

介護予防教室ではNTTグループが開発した「介護予防システム(健康から運動指導までの介護予防をトータルサポートする映像コミュニケーション技術)はつらつ製造器」を利用し、介護が必要な状態にならない、または、その時期を遅らせ高齢者が出来る限り個々の状態に応じた自己実現が図れるよう介護予防の知識や日常生活における取り組みについて学んでいただく教室となっております。実際に体験するだけで、ちよつとしたコツがつかめ、役立つ内容となっております。どうぞお気軽にご参加ください。参加申込書をお送りいただきました方には、詳しい内容をお送りします。

- ① 開催日時 次表のとおり
- ② 募集人員 各教室20名(先着順)
- ③ 受講料 無料(介護予防教材・自宅)

介護予防教室

県別	開催日	会場	内容
愛媛	H20年10月23日(木) 13:00~16:00	【ニチイ学館松山教室】 松山市三番町4-4-6 松山センタービル2号館4F	【講義】 ①元気なうちからはじめよう介護予防 ②認知症予防 ③忘れん脳生活 ④実践! えいよーバランス生活
香川	H20年11月26日(水) 13:00~16:00	【ニチイ学館高松教室】 高松市寿町2-4-20 高松センタ-ビル10F	【実技】 ①転倒骨折予防 ②しっかり貯筋体操 ③介護予防運動(セラバンド運動)
高知	H20年12月10日(水) 13:00~16:00	【ニチイ学館高知教室】 高知市本町2-2-34 明治安田生命高知ビル6F	
徳島	H21年1月21日(水) 13:00~16:00	【ニチイ学館徳島教室】 徳島市八百屋町3-26 大同生命徳島ビル7F	

④ 申込締切日 定員になり次第締切

で運動ができるセラバンドを用意していただきます)

☆『NTT・OB香川介護センター』
『NTTグループ徳島ボランティア
クラブ』総会及び研修会開催

さる7月17日、香川県社会福祉総合センターにおいて「NTT・OB香川介護センター」の第七回総会が開催されました。

はじめに「NTT・OB香川介護センター」松尾会長から現状の報告及び今後の課題等を中心に挨拶がありました。

総会では平成十九年度の活動報告及び平成二十年度の活動方針について活発な討論が行われた後、原案どおり承認されました。

総会に先がけて、財団法人健康事業団香川県支部の保健師による「メタボリックシンドローム対策と予防について」をテーマに研修講演会がありました。

平成二十年からメタボリック検診が導入され、糖尿病等の改善を主体に日常の食生活改善等の説明を受けました。

「NTT・OB香川介護センター」では、OBの方へのお元氣コールとして節目の誕生日に会員手作りの季節感溢れる絵手紙をお送りして、お祝いをさせていただいておりOBの皆様から大変喜ばれています。

また、9月7日にはNTT徳島支店中洲ビルにおいて「NTTグループ徳島ボランティアクラブ」の第七回総会が開催されました。

「NTTグループ徳島ボランティアクラブ」においても、冒頭、徳島保健所の管理栄養士による「糖尿病予防のための食生活」と題して研修講演会が行われた後、小笠原会長の挨拶に引き続き、平成十九年度の活動報告及び

平成二十年度の活動方針について討論が行われ「みんなで決めて、みんなで行動」をモットーに、利用者に信頼され喜ばれるボランティア活動に取り組んでいくとの方針が原案どおり承認されました。

なお、徳島ボランティアクラブでは、今年度より「テルウェル徳島ボランティアクラブ」から「NTTグループ徳島ボランティアクラブ」へ名称変更をしております。

香川・徳島両ボランティアセンターでは、今年度も引き続きお元氣コール・お元氣訪問等のボランティア活動に取り組んで行くこととされています。



《香川介護センター会員手作りの「絵手紙」》



《徳島ボランティアクラブ第7回総会の模様》

各県ボランティアセンターでは、各地域でボランティア活動に参加・協力していただけるボランティア会員を募集しています。

NTT・OB高齢者に対するボランティア活動に参加していただける方は、是非ご連絡下さい。

【お申し込みお問い合わせ】

介護ボランティア

(〇八九) 九三四一三七二三

介護予防教室

〇二二〇一七四四一四〇〇

◆テルウェル西日本(株) 四国支店

厚生福祉・ビルサービス営業部
福祉共済担当：岡田

俳句

愛媛電友会 インターネット「若草句会」

春待つや柱時計の捻子を巻き 彰子
 梅雨ぐもり連山遙かに沈み行く 石の花
 剥落の白き土蔵や桐の花 いなご
 花を背ににわか舞台の舞扇 さつき
 かき水蜜はそれぞれ三姉妹 コスモス
 鳴き砂にたわむる親子風薫る 浩風
 在りし日の母の姿や白緋 泉
 縁側で絵を描く老婆日脚伸ぶ そらまめ
 百年の時を経ており雛の貌 媛香
 転倒をそばで見ている雪だるま 哲朗
 梅の香を愛でてしばしの公家気分 千柳
 鯉のぼり風と戯むるピルの上 菜の花
 子供らに竹馬教え友となる 峰生
 境内の杉しんしんと濃紫陽花 高越
 一服のお茶のもてなし青楓 楓花
 一人居の変わらぬままの夏簾 まこと

高齢者叙勲

次の方が授章されました。
 心からお祝いを申し上げますとともに
 益々のご健勝をお祈りいたします。

☆ 瑞宝双光章 黒川 武雄 様

物故者叙勲

☆ 瑞宝双光章 藤崎 光章 様
 ☆ 瑞宝双光章 田中 進 様
 ☆ 瑞宝单光章 川端 昇平 様
 ☆ 瑞宝单光章 丹波 許江 様

敬弔

次の方々が逝去されました。
 謹んでご冥福をお祈りいたします。

(故人のお名前) (逝去年月日) (享年) (生前居住地)

二神 三郎 様	20	6	2	85	松山市
大西 英明 様	20	6	28	79	松山市
八木 哲 様	20	7	19	84	松山市
藤崎 光章 様	20	7	19	80	松山市
川端 昇平 様	20	7	23	79	松山市
田中 進 様	20	8	9	87	伊予市
丹波 許江 様	20	8	13	77	松山市
富山 義春 様	20	8	22	82	船橋市
渡部 照一 様	20	9	5	78	松山市
大角 一博 様	20	9	18	71	新居浜市
(香川県)					
渋谷 正道 様	20	7	30	73	高松市
木村英二郎 様	20	8	1	69	高松市
人見喜美子 様	20	8	6	78	高松市
土田五百里 様	20	9	8	87	観音寺市
(徳島県)					
清水 貞子 様	20	7	5	79	阿南市
森 安雄 様	20	7	26	75	藍住町
吉田 亨 様	20	8	12	77	徳島市
(高知県)					
国吉 元身 様	20	8	1	71	高知市
宇佐美 修 様	20	9	23	82	高知市

表紙の言葉

「子ども川狩り」

平林 恒男 (松山市)

毎年、10月7日の秋祭りの日、松山市安城寺の御輿は町内の巡幸が終わると「川狩り」の神事を行います。
 若者がふんどし一つで御輿を久万川にかつぎいれ、流水で洗い清める神事です。
 この伝統行事を久枝小学校4年生の体験学習として、手作りの御輿で「川狩り」をしている様子です。

編集後記

今年の夏はこのほか厳しい暑さが続きましたが、漸く秋の涼しい気配が感じられる時期となりました。
 夏バテの回復をはかり、これからの快適なシーズンを有意義にお過ごし下さい。
 (小澤)

四国電友会会報 第百四十四号
 発行 平成二十年十月一日
 編集 電友会四国地方本部
 松山市一番町四一三
 NTT西日本愛媛支店内
 (〇八九) 九三六・二〇二三
 印刷 株式会社 NTTクオリス



ブロードバンドは、
NTT西日本へ
おまかせください



フレッツ
光プレミアム

フレッツ
ADSL

■ NTT商品・サービスのお申し込みは
NTT西日本 愛媛支店
総務担当(退職者窓口)

TEL.(089)936-2841

[受付時間]
10時~12時、13時~16時
土曜・日曜・祝日・年末年始
(12/29~1/3)は除く